



むしむし 探偵団[®]

第1弾 ダニシリーズ

* 商標登録済

* 商標登録済

* 特許取得済



- 1 「採取～同定～調査報告書」までを一体化した画期的なダニ診断システムです。
- 2 簡単に、短時間で、ダニの採取ができます。
- 3 同定と調査報告書作成は、生物調査専門社が行いますので正確です。

使用例

かゆみの原因調査をしたいとき
ハウスダストに含まれるダニが気になったとき
住まいの環境の清潔度を確認したいとき など

環境衛生管理の重要な施設

学校、病院、事務所、交通機関 など

調査対象物

布団、枕、座布団、たたみ、カーペット、
ソファ、いす、ぬいぐるみ など

包装

1ケース 10キット入り(検体送付先シール10枚同梱)

1キットの内容

ダニ検査用シート 6枚 / 調査項目記入シール 6枚

特 徴

1. 簡単に短時間で、しかも調査対象物を傷めることなく、ダニを採取できます。
2. 同定と調査レポート作成は、生物調査専門の会社が行うので正確です。
3. 定性ではなく、限りなく定量で診断します。
4. 継続的なビジネスにつながる、定期的なモニタリングのツールです。
5. 採取した検体は、キットのはがき型梱包ケースをそのまま利用し、調査専門社へ郵送できるので大変便利です。
6. 今まで、ダニ同定に費やしていた手間と時間が、不要になります。

検査結果のご報告について

お送りいただきました採取済み「ダニ検査用シート」を顕微鏡で調査し、ダニの種類、生息密度、防除の必要度などの検査結果を、約2週間で郵送ケース裏面に記載の取扱店へお届けします。(検体はお返しいたしません)

同定、調査報告書作成は調査専門社の『いきもの研究社』が行います。なお、さらに詳細な調査報告書を希望される場合は、別途オプションとさせていただきます。

ご 注 意

使用方法を遵守し、人体や動物にご使用しないでください。

水分、油分、ほこりやゴミの多いと思われる場所でのご使用は避けてください。

本品は冷暗所で保管してください。

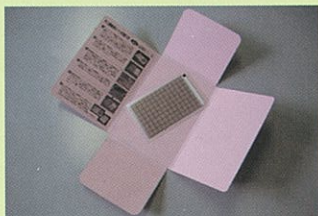
当検査調査報告書は『いきもの研究社』受付の文書番号のないものは無効です。

『いきもの研究社』へ調査報告書の内容について問い合わせをする際は、必ず調査報告書に記載の文書番号を先に伝えてください。(受付文書番号がないと問い合わせにはお答えできませんので、予めご了承ください。)

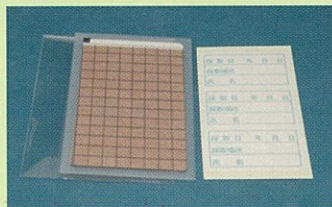
ご依頼いただいたお客様への報告、提案は取扱店が責任を持っておこなってください。

ダニ検査用シートの使い方

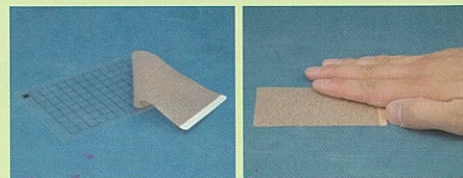
- ①ダニがいるか調査する対象(フローリング面、畳表、ソファ、布団、シーツ、枕など)をきめてください。この1キット(ダニ検査用シート6枚入り)で、合計6箇所を調査できます。(例えば床の場合、5㎡あたり1枚の使用が目安です。)



- ②ポリ袋からダニ検査用シートを取り出し、粘着面を保護するマス入り透明保護フィルムをはがします。(保護フィルムは採取後に必要ですから捨てないでください。)



- ③調査箇所の表面にダニ検査用シートの粘着面を貼り付け、調査箇所と粘着面が密着するように、上から手のひらで3回ほど軽くなでます。更に付近の別の場所を選び、1枚のダニ検査用シートで、1調査箇所周辺につき、10回同じ作業を繰り返します。



調査報告書サンプル例

〇〇消毒(株) 様

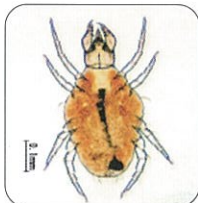
文書番号〇〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇
平成 〇年 △月 ×日

むしむし探偵団 環境調査報告書



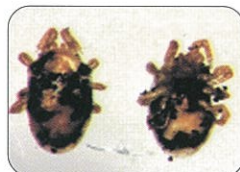
チリダニ類

普遍的に生息
喘息や鼻炎のアレルゲン



ツメダニ類

刺咬性
痒み、皮疹を起こす



トリサシダニ類

吸血性
痒み、皮疹を起こす



ヒゼンダニ類

皮膚に寄生
痒みをもたらす(疥癬症)

採取方法：ダニ検査用シートを対象物に『貼ってなでて剥す』を10回繰返し、マス入り透明シートに貼り戻す。

算出方法：ダニの捕獲頭数×20を1m²当りの指数とする。(粘着シート面積×10回×20≒1m²)

安心

注意

環境改善や処置が必要

	採取日時	捕獲場所	チリダニ 捕獲指数	0	<20	<40	<60	<80	<100
1	〇年 △月 ×日	リビング、カーペット	0 N/m ²						
2	〇年 △月 ×日	書斎、床	160 N/m ²						
3	〇年 △月 ×日	寝室、マクラ	20 N/m ²						
4	〇年 △月 ×日	布団	0 N/m ²						
5	〇年 △月 ×日	シーツ	0 N/m ²						
6			N/m ²						

調査専門社コメント

書斎の床面でのダニ汚染がひどい。
寝室での枕は、汚染の初期段階。

総 評

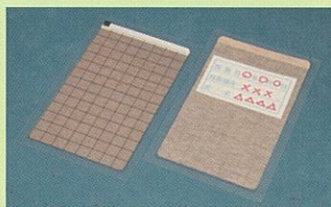
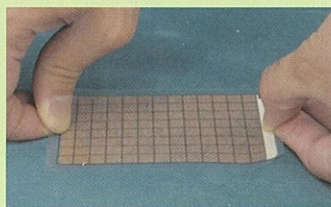
取扱店担当者

※郵送ケースの色は商品管理の都合上、製造ロットごとに変ります。

④ 採取が終わったダニ検査用シートは、粘着面をもとのように保護フィルムに貼り戻します。(貼り戻す際、シワにならないようにご注意ください。)

⑤ 調査項目記入シールに採取日、採取対象物、氏名を記入し、ダニ検査用シート裏面(粘着糊がついていない、薄茶色の側)に貼り付けます。(透明フィルム側には貼らないようにご注意ください。)

⑥ 6ヶ所分採取したダニ検査用シート6枚をまとめてポリ袋に入れ、郵送ケースに収納(両面テープのはくり紙をはがして封かん)し、表側に検体送付先シールと90円切手を貼り、裏側には取扱店の会社名、担当者名、住所を記入して、ポストに投函してください。



各国公立大学長
 各国公立高等専門学校長
 国立久里浜養護学校長 殿
 各都道府県知事
 各都道府県教育委員会教育長

15文科ス第402号
 平成16年2月10日

文部科学省スポーツ・青少年局長
 田中壮一郎

「学校環境衛生の基準」の改訂について（通知）

学校における環境衛生管理の徹底については、かねてから格段のご配慮をお願いしているところですが、このたび、近年の社会環境の変化等を踏まえ、「学校環境衛生の基準」を別紙のとおり改訂しました。

ついては、本基準に基づき、定期環境衛生検査、臨時環境衛生検査、日常点検及びそれらに基づく事後措置の徹底を図るとともに、下記の改訂の内容及び留意事項並びに平成14年2月5日付けで通知した13文科ス第411号の内容に御留意の上、学校環境衛生活動の適正な実施につき遺漏のないようお取り計らい願います。

なお、各都道府県教育委員会及び各都道府県知事におかれては、域内の市区町村教育委員会、所轄の学校及び学校法人に対しても周知徹底されるよう併せてお願いします。



※主な改訂内容の中で、「教室等の空気」については、以下のとおりとなりました。

3 「教室等の空気」について

- (1) 「検査事項」の「(1) 温熱及び空気清浄度」において、「二酸化窒素」を「検査事項」として盛り込み、「検査方法」として、「開放型燃焼器具を使用している教室」において行うこととしたこと。
 「二酸化窒素」の「判定基準」について、「0.06ppm以下であることが望ましい」とし、「事後措置」として、「二酸化窒素が基準値を超えた場合、室内外比で室内が室外を超える場合は、換気及び暖房方法等について改善を行う」こととしたこと。
- (2) 「検査事項」の「(2) ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物」において、「特に必要と認める場合」は、「エチルベンゼン」及び「スチレン」についても検査を行うこととし、これらの物質の「判定基準」について、「エチルベンゼン」は「 $3800\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.88ppm)以下であること」、「スチレン」は「 $220\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.05ppm)以下であること」としたこと。
- (3) 「検査事項」に「(4) ダニ又はダニアレゲン」を新たに盛り込み、「検査方法」として、「保健室の寝具、カーペット敷きの教室等、ダニの発生しやすい場所」において行うこととしたこと。
 「ダニ又はダニアレゲン」の「判定基準」について、「ダニ数は100匹/ m^2 以下、又はこれと同等のアレルゲン量以下であること」とし、「事後措置」として、「掃除等の方法について改善等を行う」こととしたこと。



いきもの研究社 吉田 政弘氏

京都府立大学農学部農学科 応用昆虫学専攻 卒業
 (元)大阪府立公衆衛生研究所 主任研究員(医動物)
 屋内塵性ダニ類とアレルギー疾患について長年研究

現 在

いきもの研究社 代表
 武庫川女子大学薬学部 講師
 (財)ビル管理教育センター 講師
 (社)大阪府ペストコントロール協会 理事
 日本環境動物昆虫学会 評議員

検査内容に関する問い合わせ

いきもの研究社

〒537-0023
 大阪市東成区玉津一丁目8-20 パライツ玉津1F
 TEL/FAX: 06-6976-0455

発売元

鵬図商事株式会社

〒145-0064
 東京都大田区上池台五丁目2番1号
 TEL: 03-3748-8580/FAX: 03-3748-8560